

徳島ガラススタジオの現状と課題について

1 設置目的

- (1) 設置条例 徳島ガラススタジオ条例
ガラス工芸の普及を図り、もって市民の文化の振興に寄与するため設置
- (2) 設置当時の目指す方向性
市民にガラス作品を作る楽しさや喜びを提供するとともに、ガラス文化の先進地として魅力あるまち「徳島」を全国にアピールするとともに、観光事業を中心とした産業化を図り、活力ある徳島へ貢献する

2 施設等の概要

- (1) 所在地 徳島市勝占町中須78番地の4
- (2) 開館日 平成元年5月7日
- (3) 施設規模 敷地面積 690.89㎡
延床面積 327.00㎡
構 造 鉄骨造2階建
駐車場面積 381.03㎡（県から借地）
- (4) 主要施設 工作室、吹き場、展示フロア、休憩室、倉庫
- (5) 休館日 1月1日～1月3日及び12月29日から～12月31日
- (6) 供用時間 午前9時～午後5時

3 講座等の概要

- (1) ガラス工芸講座（1期あたり8回 4期／年）
 - ・ コールドコース 直接溶けたガラスを扱わない技法でガラス器に模様を彫り混むサンドブラストやエナメル絵付けなどオブジェや皿を制作
バーナーワークの技法によりとんぼ玉を中心に制作
 - ・ 吹きガラスコース 溶けたガラスを吹き竿に巻き取り、息を吹き込みながら、コップやペーパーウエイト、一輪挿しなどを制作
- (2) ガラス体験（随時受付）
 - ・ 吹きガラス体験 コップ、ぐい飲み制作
 - ・ サンドブラスト体験 コップや皿にデザインを彫り込む
 - ・ フュージング体験 ガラスの板の上に色のついたガラスを並べ模様を付ける
 - ・ デコフォトフレーム制作体験 ガラスのフォトフレームに色ガラススタイルを貼り付ける
 - ・ アクセサリー体験 色ガラスのパーツを配置してネックレスを制作
 - ・ トンボ玉体験 ガラスと模様のミルフィオリや銀箔を使って制作

(3) 催し物体験

- ・赤ちゃん誕生記念品制作
- ・ガラスセミナー
- ・ガラス工芸アウトリーチ
- ・ガラス工芸ミニワークショップ
- ・ガラスアートフェスタ
- ・ガラス移動作品展
- ・ガラス異業種交流会
- ・徳島ガラススタジオまつり

4 指定管理者による施設管理

- (1) 指定管理者 公益財団法人徳島市文化振興公社（公募により選定）
- (2) 指定期間 令和7年4月1日から令和10年3月31日まで（3年間）
- (3) 指定管理料 19,192千円（年額）

5 講座受講者等の推移

（単位：人）

年度	ガラス工芸講座	ガラス体験	催し物体験	合計
R元	3,467	1,106	1,393	5,966
R2	3,217	706	78	4,001
R3	3,630	1,155	358	5,143
R4	3,426	1,450	427	5,303
R5	3,423	1,207	1,006	5,636
R6	3,293	1,403	799	5,495

※ガラス工芸講座の受講者数は延べ人数（参加回数×人数）

6 ガラス工芸講座受講者数（1期あたりの平均人数、4期／年）

（単位：人）

年度	コールドガラス	吹きガラス	合計
R元	58	41	99
R2	53	38	91
R3	58	41	99
R4	59	36	95
R5	59（94）	39（62）	98（156）
R6	54（75）	35（62）	89（137）

※（ ）内 定員数、R4以前については、不明

7 ガラス工芸講座受講年数（コールドコース、吹きガラスコース）

令和6年4月～6月講座受講生内訳 (単位：人)

受講年数	受講者数
1年	3
2年～10年未満	29
10年～20年未満	18
20年～30年未満	16
30年～35年	22
受講者数（実人数）	88

※開館当初からの受講生は10人

※10年以上の受講者が多く、6割を超える

8 収支（市会計）

(単位：円)

区分	歳入 自動販売機 (共益費＋ 使用料)、 電柱設置使 用料	歳出				差額
			指定管理料 (委託料)	修繕費	借地料 (駐車場)	
R元	27,283	17,155,261	15,945,000	848,100	362,161	▲17,127,978
R2	43,706	18,215,592	17,102,000	769,540	344,052	▲18,171,886
R3	28,706	19,505,649	17,102,000	2,076,800	326,849	▲19,476,943
R4	28,706	17,770,459	17,102,000	346,500	321,959	▲17,741,753
R5	37,271	18,216,921	*17,502,000	394,900	320,021	▲18,179,650
R6	37,206	17,866,682	17,102,000	446,600	318,082	▲17,829,476
計	202,878	108,730,564	101,855,000	4,882,440	1,993,124	▲108,527,686

*R5の指定管理料には継続支援金（40万円）を含む

9 これまでの取り組み

徳島ガラススタジオでは、主に「ガラス工芸講座」や「ガラス体験教室」、「講演会」を実施し、ガラス文化の普及を図るとともに、利用者の増加に取り組んできた。また、底辺拡大や利用者増加につながるよう、地元地域のイベントへの参加や、異業種との交流会や、小学校へのアウトリーチ活動などの事業を展開している。

さらには、SNS を利用した情報発信により、作品紹介や動画によるガラス技法の説明や、ガラス作品を体験している様子を発信し、観光による利用者の増加にも取り組んできた。

また、インターネットによる体験予約サイトの活用及び SNS を利用した情報発信により、作品紹介や動画によるガラス技法の説明、ガラス作品を体験している様子を発信し、利用者の増加にも取り組んできた。しかしながら、施設設置当初に目指した方向性の現実にはほど遠く、想定していた効果がみられていない。

(単位：人)

開始	事業名	場所	内容	参加人数
H30	インターネット予約サイトによるガラス体験の予約		ガラス体験	R3 1,155 R4 1,450 R5 1,207 R6 1,403
R 3	異業種との交流会	ガラススタジオ	ガラス工芸と異なる業種の講師を招いた業種交流会	R3 18 R4 14 R5 14 R6 13
R 5	ガラスアートフェスタ	ふれあい健康館	ミニワークショップ ・サンドブラスト ・風鈴絵付け ガラスのつかみどり ・赤ちゃんの手型、足型	R5 172 R6 59
	アウトリーチ	小学校2校	サンドブラスト	208
	Kids Glass Art Day	ガラススタジオ	ガラス体験講座 ・切り絵風画 ・ステンドグラス風画 ・ガラスの砂絵	13
R 6	徳島ガラススタジオまつり	勝占コミュニティセンター	勝占地域の「かつら作品展」と連携したガラス作品の展示等	61

10 施設の老朽化に伴う修繕の必要性

- ・令和10年度以降、機器の更新や大規模修繕により多額の経費が必要となる
- ・平成27年度～令和6年度（10年間） 平均 990 千円／年
- ・令和10年度～令和19年度（10年間） 平均 4,371 千円／年

(内訳)		(単位：千円)
年度	項 目	金 額
R10頃まで	加熱炉関係	700
	電気設備関係	2,710
	施設関係	10,500
	小 計	13,910
R15頃まで	徐冷炉及び加熱炉関係	5,700
	電気炉関係	1,200
	レンタル設備機器更新	6,000
	キュービクル内高圧電源設備及び電気関係	10,000
	電気設備関係	1,000
	施設関係	5,900
	小 計	29,800
	合 計	43,710

※R10の修繕は主に天井部分の雨漏りによる大規模改修等が見込まれる

R15の修繕は主に動力変圧機の更新及び研磨機、切断機の更新等が見込まれる

11 今後の課題について

徳島ガラススタジオに係る経費として、毎年、指定管理料をはじめ法定点検料や施設修繕費、駐車場借地料等が必要となっており維持管理コストがかなりかかっている。さらに、今後、施設及び設備の老朽化により多額の費用が見込まれる。

民間活用も検討したいが、施設等の老朽化及び収益性が見込まれないため難しい状況である。

当初の見込みほど、受講者数及び入館者数の広がりもなく、講座受講生の固定化もみられることなどから、指定管理更新期間終了（R9）をもって、廃止することも視野に入れて検討していきたいと考えている。

なお、徳島ガラススタジオを廃止する場合、市民の文化振興のため、現在展開している事業のうち一部の機能を、駅前でアクセスもしやすく、本市が文化振興のため保有する施設であるシビックセンターにおいて継続していきたいと考えている。

